

令和3年度 附属学校研究支援・特色化にかかわる事業実施報告書

事業の名称	附属特別支援学校における研究の成果を全国へ発信する取組
事業実施代表者名	校長 青山 眞二
実施附属学校名	北海道教育大学附属特別支援学校
事業内容 (実施内容について、 1,000字程度で記述)	<p>本事業では、本校で行う研究を様々な方法で道内及び全国へ発信することを目的としている。</p> <p>事業の方法として、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①公開研究会の開催 ②各種学会での発表 ③研究成果物の作成 ④他校との研究交流 ⑤その他（HP等） としている。 <p>①については、7月～8月に小学部から高等部までの授業を配信した。また、10月に「知的障がい教育における育成を目指す資質・能力とカリキュラム・マネジメント」の演題にて、東京都立久我山青光学園の統括校長である丹野哲也氏の基調講演会を行った。新型コロナウイルス感染症の感染対策により、講師が来道することはできなかったが、オンラインによる講演会を行い、のちにオンデマンド配信により、研究会参加者（授業視聴者）に視聴を案内した。</p> <p>②については、研究の途中経過を第15回北海道特別支援教育学会札幌大会（Web 開催）においてポスター発表した。また、北海道立特別支援教育センターが行う「令和3年度特別支援教育研究成果・実践報告会」において、研究の取組の成果について動画での発表を行った。</p> <p>③については、昨年度までの研究成果について、リーフレット形式で紀要にまとめ、全道特別支援学校および全国附属学校へ配布した。令和3年度の研究も同様に紀要としてまとめ、発送を行う。</p> <p>④については、道東の特別支援学校との研究交流を通して、本校の研究内容を発信することも引き続き行った。また、函館市立石崎小学校との授業交流も行った。</p> <p>⑤については、研究についての資料及び授業動画、基調講演動画を学校ホームページに掲載した。視聴した参加者から、研究内容についての意見をいただくため、アンケートを行った。</p>
成果と課題 (活動の成果と課題について、500字程度で)	<p>①については、授業の視聴について、全国より433名の視聴申し込みがあった。研究についての資料及び授業動画、基調講演動画を学校ホームページを活用して発信した結果、遠方の地域か</p>

<p>記述)</p>	<p>ら「オンラインであったからこそ参加できた」という今後もオンラインの活用についての希望の声をいただいた。</p> <p>今後も広く研究成果を発信していく方法として、オンラインの活用を行いながら、公開研究会等を実施していくことを検討する。</p> <p>②については、道内の特別支援学校の教員が多く参加・視聴する場において発信を行うことができた。各種学会がオンラインになることもあり、学会に参加しての発信が十分にできない状況が続いたが、学会に限らず発信の場を広げる必要があると考える。</p> <p>③については、昨年に引き続き“見やすい”“読みやすい” 紀要の作成に取り組み、カラー版でのリーフレット形式で作成した。届いた学校ですぐに手にとって参考にできる成果物の作成を今後も続けていく。</p> <p>④については、道東の特別支援学校と両校の授業の視聴を通して、校内研の取り組み方についても情報交流を行うことができた。地域の特別支援学校では、校内での研究の取組に課題をもつ学校も少なくないため、研究部員同士の交流の場がとても貴重であるとの声を聞くことができている。</p> <p>⑤については、ホームページでの発信だけではなく、SNSなどの活用も検討していく。</p>
<p>今後の発展性 (残された課題の解決方策及び取組の方向性について、500字程度で記述)</p>	<p>本校の任務や第4期中期目標・中期計画の実現へ向け、本校の研究の充実及びその発信に向け、大学及び教職大学院との連携をさらに強めていく。</p> <p>北海道の特別支援教育の取組を充実させていくため、本学に一つの特別支援学校として研究の取組を全国、全道、地域へ発信していくことは必要なことと考える。</p> <p>学習指導要領の改訂後、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、学校現場が大きく変化する中、特別支援教育で大切にされている実態把握、障がい特性理解などによる授業づくりにおいて課題を抱える学校は多い。そこで本校は、児童生徒一人一人の実態を社会の変化に伴ってどう見取っていくのかという点を大事にした授業づくりを研究内容に設定することとした。これら授業づくりの手続きもあわせ、全国の知的障がい教育を行う特別支援学校や特別支援学級へ発信をしていく必要があると考えている。</p>
<p>事業の公表状況 (事業をHPで公開した場合、又は新聞等に掲載された場合、当該媒体名、掲載日等を記入)</p>	<p>北海道新聞、函館新聞及び北海道通信に公開研究協議会について掲載された。その他、本校ホームページ上に、研究活動において研究の外部発表への取り組みと、入試情報にける出願状況、活動の様子等において随時更新掲載している。</p>

(注) 当該事業に係る写真等の参考となる資料がある場合は、この事業報告書に添付すること。

支出実績額内訳

(附属学校名 附属特別支援学校)

区 分	予算額	支出実績額	内訳 (簡潔に記載すること)
旅 費	千円	千円	
謝 金			
備 品 費			
消耗品費	264	304	研究紀要印刷・作成
そ の 他			